

2 個別事業評価調書

団体名:与謝野町

事業名		阿蘇公園整備事業					
事業の概要	<p>男山団地に隣接する本公園は、子どもや老人、親子連れ等老若男女を問わず憩いの場となっているが、危険遊具と診断された遊具が撤去され、唯一残っている鉄棒も危険な状態となっているため、今回撤去を行うものである。その結果、公園の遊具が全て無くなってしまったため、新たに遊具を設置し、地域住民が気軽に交流できる拠点とするものである。</p> <p><阿蘇公園鉄棒撤去></p> <p><阿蘇公園遊具設置工事> 2連ブランコ 1基、低鉄棒3段 1基</p>						
	事業期間	平成21年度					
	総事業費	788	本年度事業費	788	交付金交付額	394	
事業評価	事業の必要性	男山団地に隣接する本公園は、子どもや老人、親子連れ等老若男女を問わず憩いの場となっているが、遊具を撤去してから公園利用者が減少しているため、地域住民の交流拠点としての整備を実施するものである。					
	事業の有効性	本事業により、老若男女問わず公園に人が集い、地域での一体感を醸成に繋がる。					
	事業の効率性	町内の業者に発注することで、地元企業等における雇用の維持が図られる。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		危険遊具を撤去し、新たに設置することで、利用者の安全性の向上に資するとともに、それぞれの世代が自然に出会い、気軽に交流ができる憩いの場とするものである。					
		3 リーディング・モデル成果					
遊具の設置によって、子どもに冒険や挑戦、社会的な遊びの機会を提供し、子どもの遊びの促進が図られるとともに、危険に関する予知能力や事故の回避能力など、自己の心身の能力を高めることが可能となる。							
4 広域的波及成果							
住民の憩いの場として公園の整備を進めることにより、「うるおいのある暮らし環境」の実現に資する。							
5 行財政改革に資する成果							
6 その他の成果							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。